小学生のみなさんに

— 学びの手引き —

「海運と船と港の役割」の活用にあたって

一般財団法人 総合初等教育研究所　参与　北 俊夫

5年の社会科では、わが国の貿易や運輸について学びます。「海運と船と港の役割」に関する画面は、「さまざまな設備や特徴をもっている港」と「暮らしに必要なものは船が運んでる!」の2つから構成されています。これらの画面は、5年生のみなさんのほか、6年生や4年生でも、復習や予習として見て学ぶことができます。いずれの学年でも、学校での社会科学習と関連づけて活用することができます。

「さまざまな設備や特徴をもっている港」の画面からは、海上輸送（海運といいます）といろいろな種類の船とその役割や、港の施設について学ぶことができます。次の手順で資料を調べ、（例）にならって表にまとめていきましょう。それぞれのアイコンをクリックして、さらにくわしく調べましょう。

① 港には、どのような船が止まっていますか。
② その船はどんな品物を運んでいますか。
③ 船で運ばれた品物を積みおろしするために、港にはどんな施設がありますか。
④ そのほか、港にはどんな施設がありますか。

① 止まっている船	② 運んでいる品物	③ 積みおろしのための施設
（例）タンカー	• 原油	• オイルターミナル

④ そのほか、港にある施設

「暮らしに必要なものは船が運んでる!」の画面からは、外国とのあいだで輸出入している品物やそれぞれを運んでいる専用の船を学ぶことができます。次の手順で資料を調べ、(例)にならって表にまとめていきましょう。その際、それぞれのアイコンをクリックして、さらに詳しく調べましょう。

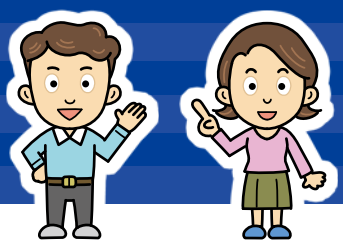
① 日本にはどんな品物が輸入されていますか。また、それはどんな船で運ばれてきますか。
② 日本からはどんな品物が輸出されていますか。また、それはどんな船で運ばれてきますか。

① 輸入している品物	運んでいる船
(例) 原油	• タンカー

② 輸出している品物	運んでいる船

③ 船で運ぶとどのような利点があるのでしょうか。考えてみましょう。

2つの画面から学んだことを家族の人たちと話し合ってみましょう。



お子さんへの
アドバイスのヒント

小学校5年の社会科では、わが国の貿易の現状や運輸の働きについて学ぶようになっています。外国から輸入される品物や外国に輸出される品物は、多くが船によって輸送されています。船は運ぶ品物によって違っています。人や物を船で海上輸送することを「海運」といいます。
また、品物を積み卸しするためには港が必要です。港には、そのための施設が作られています。

ここに示してある「海運と船と港の役割」の画面は、「さまざまな設備や特徴をもっている港」（**画面❶**）と「暮らしに必要なものは船が運んでる!」（**画面❷**）の2つから構成されています。
画面❶からは、さまざまな品物がそれぞれ専用の船で運ばれていることや、そのための施設があることを学ぶことができます。
画面❷からは、工業の原材料を輸入するために、また日本国内で生産された工業製品を輸出するために、それぞれ専用の船があることを深く理解することができます。2つの画面はいずれもアイコンをクリックすると、さらに詳しい情報を得ることができるようになっています。

画面❶

画面❷

子ども向けの「学びの手引き」を参考にして、お子さんと一緒に画面を見ながら、さまざまな船のことや港の役割を話題にし、海運の働きについて話し合ってみてはいかがでしょうか。